

平成21年度座間市市民まちづくり討議会に係る フォローアップ・アンケート調査報告書

1 調査の目的

平成21年10・11月に実施した市民まちづくり討議会（以下、「討議会」と言う）の参加者に対して、討議会以後の市政への関わり、討議会意見交換結果への市の対応の評価などを調査したものです。

2 調査の仕様及び回収結果

- (1) 調査対象 平成21年度市民まちづくり討議会における最終回（意見交換）参加者
- (2) 対象者数 49人
- (3) 調査方法 郵送調査（回答者は無記名）
- (4) 調査期間 平成22年12月2日～12月20日
- (5) 回収数 37（回収率75.5%）

3 各設問の結果

問1 「市民まちづくり討議会」参加以後、市政全般への関心・興味が高まりましたか？

- 1 高まった **(40.5%)**
- 2 どちらかと言えば高まった **(51.4%)**
- 3 変わらない **(5.4%)**
- 4 低くなった **(0.0%)**
- 5 分からない **(2.7%)**

問2 「市民まちづくり討議会」参加以後、以下の市政分野について、関心・興味が高まりましたか？

分野	選択肢	高まった	どちらかと言 えば高まった	変わらない	低くなった	分からない
健康・医療		21.6%	48.6%	29.7%	0.0%	0.0%
福祉		32.4%	40.5%	24.3%	0.0%	2.7%
生活・協働		21.6%	35.1%	40.5%	0.0%	2.7%
教育・生涯学習		21.6%	40.5%	35.1%	2.7%	0.0%
都市・建設		21.6%	37.8%	40.5%	0.0%	0.0%
上下水道		13.5%	45.9%	37.8%	0.0%	2.7%

環境・産業	27.0%	37.8%	32.4%	0.0%	2.7%
行政経営	27.0%	32.4%	40.5%	0.0%	0.0%

問3 今後の市民まちづくり討議会の開催について、どのように思いますか？

(第2回市民まちづくり討議会は、平成23年1月頃に実施予定で、土日を含む5日間から3回(1回3時間程度)以上参加していただく実施要領を予定しています。第3回以降は、2年に1回程度実施することを考えています。また、市民討議会の結果は、市民による行政・政策評価として取扱い、対応等を進ちよく管理する予定です。)

- 1 開催に賛成 **(91.9%)**
- 2 開催に反対 **(2.7%)**
- 3 わからない **(5.4%)**

問4 次回以降の市民まちづくり討議会へも参加したいと 思いますか？

- 1 参加したい **(62.2%)**
- 2 参加したくない **(10.8%)**

【理由】・多くの人に参加のチャンスがある方が良いから 同旨意見外1名

・自分も他の方も討議に慣れておらず、例えば発表すると否定ではないものの「そういうのは出来ないんですよー」といった程度のことは言われるし、市全体に関する意見の場と思っていた人と、市全体など分からないから自分の希望や限られた地域の意見で良いと思っていた人がいて、意見があっても言いづらい。

・家族の介護があるため参加できない

- 3 わからない **(27.0%)**

問5 昨年ご参加いただいた市民まちづくり討議会での意見への対応一覧表を同封させていただきましたが、市の対応についてどのように思われますか？

- 1 評価する・今後期待を持つことができる **(27.0%)**
- 2 どちらかと言えば、評価する・今後期待を持つことができる **(54.1%)**
- 3 どちらかと言えば、評価しない・今後期待を持つことができない **(10.8%)**
- 4 評価しない・今後期待を持つことができない **(5.4%)**
- 5 わからない **(2.7%)**

問6 自由意見

・よりよい座間市づくりの為に行政まかせにするのではなく、私たち市民一人一人が積極的に関心を持ち、また情報発信する必要があると思います。

・最近、不具合・不合理と思われたことを記します。

- ①人間ドックの検査費用の一部負担が厚木市には有り、座間市に無い。
- ②坂のない相武台地区の自転車マナーは最低。逆走、無灯が多い。
- ③市役所が開いていない土日曜日にも「ひまわり号」は必要か？
- ④コンビニでの住民票等の交付は取扱地区を限定した方が良いのでは？
- ⑤裏道に入ると二方向とも停止線のない交差点があります。必ず一方は停止にした方が良い。
- ⑥ゴミ集積所内の置場の配置を統一化する。

- ・多様な意見をほとんど取り入れた内容となっており、市の討議会に対する真摯な姿勢に敬意を表します。

今後は、いかにそれを実施、実現されるかとの期待感がふくらみ、成果が問われることとなります。財政難の折り、市長の決断力に大きな期待を寄せて、今後の市政の動きを見ていきたいと思っております。

ご苦労さまでした。

- ・1年もの間何やってたんですか？
- ・町民の意見を聞く機会があるのは、市としても、自分自身としても良いと思う。
見えないところが見えてきたり、今まで知らなかった現状や意見、要望などを知ることができ、自分も興味がなかったことに興味がでてきたりと、参加した意味があったと思う。
- ・高齢者福祉の問題は色々多いと思いますが、独居老人が足が悪くて近所のスーパーへ買物に行くのにタクシーで行く近所の老婦人があり、このような人とボランティアに活動をしたい人たちとシステムを作る仕組みを市の福祉課と各地域のボランティア育成するのも方法ではと（思う）

資源ごみの件、プラゴミを出す人の中でカン、ビン、生ゴミなど、もっと悪い人はタバコのすいがら、紙オムツなど考えられないような物を出す人が多くあり、この問題は市民だけの問題ではなく、市の職員も月に2回出す広報にも市民に記事で何度も知らせ、それでも守らない人は横浜市のように2度目からは罰金をとる方法など、もっと座間市はこの問題に勉強することが多いのでは。

- ・無作為に選ばれた人たちなのに市のことを考え、活発な意見を交換できたことに座間市の一員であることを再認識しました。

ただ、市長さんがいらした時は、今後どうするかより、苦情のような意見が多く、残念な気がしました。せつかく市長さんとお話ができる機会なのだから、前向きなお話しをしたかったです。

- ・最近、市役所を利用する人のための駐車場がいっぱいのごとが多く困っています。先日12月7日（火）午前中どこもいっぱい、とても困りました（多数意見あり）。交通の便が不便な所にあるのだから、もっと駐車場を多くしてほしいと思います。よろしくお願ひします。
- ・若い人達の参加が必要かと思ひます。
- ・討議会に出席し、幅広く市政に関心を持つことができました。座間市民の一人として、座間

市がより良く発展し、他県他市に誇れる市となれるよう望みます。意見を反映している事については、高く評価できると思います。

- ・朝日新聞社印刷工場、プロロジスパークの見学を通して、座間市の立ち位置が昔の宿場町・中継基地としての存在から変わらないのかなと残念に思いました。

近くの空き地はどんどん住宅地と変化していくのを見て、座間市はどうあるべきなのか？

- ・市民の声を市政に生かせるように具体的になってきたと考えます。が、市も高齢化する中、様々なことに対応を考えなければならないと考えます。

- ・第四次座間市総合計画について

税収入の向上に英知

老若男女協働参画

すべてのボランティア活動は仕事であると思う。少なくても良いが、必ずお金をつける。準じた物をつける。

- ・住民票等コンビニ交付事業は時期尚早。今回実施されたことは全く理解に苦しむ。財政の大幅赤字、住基カードの不必要の中で（必要性が無く、普及しません）、ランニングコストも十分考えず、全くガックリしております。

水道事業の逆ザヤ、宮ヶ瀬ダム立替、至急改善していただきたい。

結論…小さな改善は進めているようですが、大局を見据え、財政の健全化へ真剣に取り組んでいただきたい。

- ・介護をしているので、医療問題に関心があるが、市内に総合病院をぜひ作ってほしい。若い人に仕事（正社員）を！企業を誘致してほしい。

- ・1.討議会資料が多すぎて消化不良

2.集まりやすいようコミセンなど足場の良い会場にすべき

3.多くの人にかかわってもらい、市政そのものに関心を持たせることが肝心。

- ・座間市内の企業の見学は非常に面白く、有意義でした。

- ・座間市への転入を促すべく努力をするを目的の一つと言われましたが、魅力ある町づくりは、子供の生成が容易であり、高齢者の住み良いところでないといけないと思います。行政は、議員と職員にまかせて、我々の意見をどのように吸収するかだと思います。若い母親と年配者の出席を希望する。

- ・広報ざまでもっとアピール

- ・皆さん良く頑張っていますので、これからも、この努力を継続して計画の実行を願うものです。ご苦労様です。

- ・市政を気にしたことがなかったので良いチャンスと思って、討議会へ参加してみましたが、討議が苦手な自分にはちょっと荷が思いと感じました。意見を集めるだけならアンケート用紙の方が私としては楽で良いと思います。

しかし、討議の場でこそ得られるものもあると思うので、討議も行いつつ、他の方法での意

見収集も行ってみるのもいいかもしれません。機会を頂けて感謝しています。

- ・私は現在60歳代ですが、働いていますので会社を休んで参加しました。

他の参加者は私と同年代かそれ以上の方と主婦の方が多く見受けられました。

討議会は座間の未来について考えるということですが、年代層が片寄っていると思いました。やはり平日だけではムリではないでしょうか。

老人は知識も多いですが、「暇をもてあまし」「責任のない意見」もあったように感じます（私見ですが）

今後、いろいろな年代層（特に若い人）の方に意見を聞く必要があると思います。

できないかもわかりませんが、平日と土曜日も開催を考えてみてはどうでしょうか。

若い人の意見をぜひ聞いてみたいと感じました。

- ・今後のまちづくりの指針が見えない。

コンサル会社の全方位的指針に市が追随しているだけだ。

何に重点を置き、何を切り捨てるかを明確に示して、活発な市政にする。

- ・昨年の討議会の内容をどのようにこれから先の討議につなげていくのか。具体的に分かるようにしていただかないと、参加したいとは思いません。

意見交換の内容は、色分けして分かりやすくはなっていますが、どう考えたら良いのか…という感じです。

- ・1回目だけでは市の内容が良く分からなかったもので、2回、3回と会をかさねていかないと、市民としての対応がわからなかった。参加者をもっと多くできれば良いと思う。

まだまだ市民が行政について知らないことが多いと思う。

- ・議題が多すぎた気がする→的を絞り込んだ方が良い

参加者は熱心であった。話すのが好きな人が多く見られた

行政の担当者を入れて、行政2人＋一般人6～8人で1グループにして討議はどうか？

市の方の取組みは、よくしたいという気持ちを感じた。

- ・今回討議会に参加し、実質はじめて行政に参加でき、その点は評価したいが、方法には一考を要する。テーマが多すぎ、つっこんだ討議が今一つだった様な気がする。

- ・地域活動に参加しているわけではないけど、以前は特に意識していなかったが、討議会に参加してから、そのときに発言があったこと等が目についたら気にして見るようになったし、少し意識して見たり考えたりするように、自分の中ではなったと思うが、行動まではいかないけど…参加したくても足の便を考えると・・・

図書館だけは大いに利用させていただいています。

- ・市民まちづくり討議会に参加し、座間を改めて見直すことができ、よかったと思っています。

こういう機会をできるだけ多くの人に与えてほしいと思います。

こういう討議会に参加したいと思っている人、ランダムに選ばれた人を1:3くらいの比率で募るのもいいのではないのでしょうか？

- ・ 討議会だけで書類上で終わらせないことを望みます。それをいかしていただければ、必要はないと思います。
- ・ ①「水害のないまちとするため、豪雨対策として雨水管整備を早期に実施してほしい」赤色（基本構想に明示し、反映しています）とあるが、12月3日の大雨で道路が冠水し、冠水時にサイレンがならなかった等で下水道課の職員と話す機会があった。下水道課の職員に雨水管の話をしたが、雨水管に対する構想がないように感じた。冠水時の検知場所の移動を提案したが、今年度の予算がないとの回答ですぐに対応してくれそうもないと思われた。また、平成20年6月に用水路の壁の補修を依頼（道路管理課の人が見に来た）、未だ補修なし、今回も再度依頼したが、どうなるか今年度の予算がない？（今回、道路管理課と下水道課で話し合い、下水道課が担当してくれることになった）
- ・ ②「入谷駅周辺の田んぼには街灯がまったくないので、設置してほしい」緑色（基本構想に明示していませんが、考え方が含まれています。）になっているが、入谷歯科から海老名方面の田んぼの中の道を指しています。昔は農道であったと思いますが、今は道幅も広げ、舗装されていますので、市道だと思います。街灯を希望したのは、防犯のために要望しました。犯罪（浜田市？の女性大生殺人事件等）がおきたら、おそいのです。優先で対応すべき事項と思いますが

以上